

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	バイオ・再生医療学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	細胞培養基礎実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対象学年	2年	学期及び曜時限	前期	教室名	3階実習室
担当教員	寺村 岳士・竹原 俊幸	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

1. 無菌操作の考え方を身につけ、実践できる。
2. 培養器具や機器の取扱いができる。
3. 解凍培養、継代培養、凍結保存の操作を安定的にできる。
4. 培養細胞の状態(接着、形態、増殖)の観察に基づいた判断ができる。

《成績評価の方法と基準》

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 知識を確認する試験:20% | 4. 授業中の態度・グループ貢献度評価:10% |
| 2. 実技試験:30% | 5. 出席点:20% |
| 3. レポート評価:20% | |

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じてプリントを配布する。

《授業外における学習方法》

1. 使用教材(教科書)を事前に読んでおくこと
2. 実習ノートを作成し、毎回の実習ごとに記録を残し、事象や結果に関する考察も記載すること

《履修に当たっての留意点》

培養技術は簡単に身につくものではなく、訓練が必要なものである。操作を覚えるだけでなく、操作の意味やその背景にある原理・理論を理解し、自己研鑽に励んで欲しい。培養技術は簡単に身につくものではなく、訓練が必要なものである。操作を覚えるだけでなく、操作の意味やその背景にある原理・理論を理解し、自己研鑽に励んで欲しい。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	実習の目的(技術・知識達成目標)について理解する	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	・細胞培養の歴史と技術発展の変遷 ・細胞培養に必要となる知識と技術 ・無菌操作の考え方と基本操作		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	実習の目的(技術・知識達成目標)について理解する	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	・細胞培養の歴史と技術発展の変遷 ・細胞培養に必要となる知識と技術 ・無菌操作の考え方と基本操作		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	培養細胞における専門用語について理解する	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	・培養細胞の呼称について ・正常細胞、株化細胞、細胞株について ・接着細胞、浮遊細胞について		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	培養細胞における専門用語について理解する	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	・培養細胞の呼称について ・正常細胞、株化細胞、細胞株について ・接着細胞、浮遊細胞について		
第5回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	・PN(継代数)とPDL(集団倍加数)の違いを説明できる ・培地や試薬の性質を理解し、説明できる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	・PN(継代数)とPDL(集団倍加数)の考え方 ・培地や試薬類の調製法や性質、取り扱いについて ・培地や試薬類の滅菌法、器具類の滅菌法		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	・培養機器と器具について名称を覚え用途を説明できる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	・汎用機器の使用法、メンテナンス法について ・汎用器具の使用法、使用時の注意について		
第7回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	細胞解凍～播種の操作の感覚を覚える。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	無菌操作を意識して、無細胞の状態で細胞解凍から播種の操作をおこなう。		
第8回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	細胞解凍～播種の操作の感覚を覚える。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	無菌操作を意識して、無細胞の状態で細胞解凍から播種の操作をおこなう。		
第9回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	細胞解凍～播種の操作の感覚を覚える。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	無菌操作を意識して、無細胞の状態で細胞解凍から播種の操作をおこなう。		
第10回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	細胞剥離～継代の操作の感覚を覚える。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	無菌操作を意識して、無細胞の状態で細胞剥離から継代の操作をおこなう。		
第11回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	細胞剥離～継代の操作の感覚を覚える。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	無菌操作を意識して、無細胞の状態で細胞剥離から継代の操作をおこなう。		
第12回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	細胞剥離～継代の操作の感覚を覚える。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	無菌操作を意識して、無細胞の状態で細胞剥離から継代の操作をおこなう。		
第13回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	細胞凍結保存の操作の感覚を覚える。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	無菌操作を意識して、無細胞の状態で細胞凍結の操作をおこなう。		
第14回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	細胞凍結保存の操作の感覚を覚える。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	無菌操作を意識して、無細胞の状態で細胞凍結の操作をおこなう。		
第15回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	細胞凍結保存の操作の感覚を覚える。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	無菌操作を意識して、無細胞の状態で細胞凍結の操作をおこなう。		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	バイオ・再生医療学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	細胞培養基礎実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時間	前期	教室名	3階実習室
担 当 教 員	高木 瞳	実務経験とその関連資格	旭化成で血栓溶解剤(tPA)製造用培養プロセスを開発し工場設備を設計した。		

《授業科目における学習内容》

1. 無菌操作の考え方を身につけ、実践できる。
2. 培養器具や機器の取扱いができる。
3. 解凍培養、継代培養、凍結保存の操作を安定的にできる。
4. 培養細胞の状態(接着、形態、増殖)の観察に基づいた判断ができる。

《成績評価の方法と基準》

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 知識を確認する試験:20% | 4. 授業中の態度・グループ貢献度評価:10% |
| 2. 実技試験:30% | 5. 出席点:20% |
| 3. レポート評価:20% | |

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じてプリントを配布する。

《授業外における学習方法》

1. 使用教材(教科書)を事前に読んでおくこと
2. 実習ノートを作成し、毎回の実習ごとに記録を残し、事象や結果に関する考察も記載すること

《履修に当たっての留意点》

培養技術は簡単に身につくものではなく、訓練が必要なものである。操作を覚えるだけでなく、操作の意味やその背景にある原理・理論を理解し、自己研鑽に励んで欲しい。培養技術は簡単に身につくものではなく、訓練が必要なものである。操作を覚えるだけでなく、操作の意味やその背景にある原理・理論を理解し、自己研鑽に励んで欲しい。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	通常の試薬作成との違いを理解して培地を含む試薬を作製できる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	培地の組成を知り、フィルトレーションによる培地の滅菌、血清の不動化、添加剤の処理をおこなう。		
第17回 講義形式	授業を通じての到達目標	通常の試薬作成との違いを理解して培地を含む試薬を作製できる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	培地の組成を知り、フィルトレーションによる培地の滅菌、血清の不動化、添加剤の処理をおこなう。		
第18回 講義形式	授業を通じての到達目標	通常の試薬作成との違いを理解して培地を含む試薬を作製できる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	培地の組成を知り、フィルトレーションによる培地の滅菌、血清の不動化、添加剤の処理をおこなう。		
第19回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	顕微鏡の使い方の理解と細胞の状態が判断できる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	準備しておいた細胞を顕微鏡で観察しする。		
第20回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	顕微鏡の使い方の理解と細胞の状態が判断できる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	準備しておいた細胞を顕微鏡で観察しする。		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	顕微鏡の使い方の理解と細胞の状態が判断できる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	準備しておいた細胞を顕微鏡で観察しする。		
第22回	授業を通じての到達目標	血球計算盤をもちいて細胞数を計算できる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	準備しておいた細胞を血球計算盤で数え、計算式から細胞濃度、細胞総数を算出する。		
第23回	授業を通じての到達目標	血球計算盤をもちいて細胞数を計算できる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	準備しておいた細胞を血球計算盤で数え、計算式から細胞濃度、細胞総数を算出する。		
第24回	授業を通じての到達目標	血球計算盤をもちいて細胞数を計算できる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	準備しておいた細胞を血球計算盤で数え、計算式から細胞濃度、細胞総数を算出する。		
第25回	授業を通じての到達目標	コンタミをさせずかつ、正常な状態で細胞を維持したまま細胞解凍～播種の操作がおこなえる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	既存の凍結細胞をもちいて細胞解凍～播種の操作をおこなう。		
第26回	授業を通じての到達目標	コンタミをさせずかつ、正常な状態で細胞を維持したまま細胞解凍～播種の操作がおこなえる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	既存の凍結細胞をもちいて細胞解凍～播種の操作をおこなう。		
第27回	授業を通じての到達目標	コンタミをさせずかつ、正常な状態で細胞を維持したまま細胞解凍～播種の操作がおこなえる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	既存の凍結細胞をもちいて細胞解凍～播種の操作をおこなう。		
第28回	授業を通じての到達目標	コンタミをさせずかつ、正常な状態で細胞を維持したまま細胞剥離～継代の操作がおこなえる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	播種した細胞をもちいて剥離～継代の操作をおこなう。		
第29回	授業を通じての到達目標	コンタミをさせずかつ、正常な状態で細胞を維持したまま細胞剥離～継代の操作がおこなえる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	播種した細胞をもちいて剥離～継代の操作をおこなう。		
第30回	授業を通じての到達目標	コンタミをさせずかつ、正常な状態で細胞を維持したまま細胞剥離～継代の操作がおこなえる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	播種した細胞をもちいて剥離～継代の操作をおこなう。		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	バイオ・再生医療学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	細胞培養基礎実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対象学年	2年	学期及び曜時間	前期	教室名	3階実習室
担当教員	高木 瞳	実務経験とその関連資格	旭化成で血栓溶解剤(tPA)製造用培養プロセスを開発し工場設備を設計した。		

《授業科目における学習内容》

1. 無菌操作の考え方を身につけ、実践できる。
2. 培養器具や機器の取扱いができる。
3. 解凍培養、継代培養、凍結保存の操作を安定的にできる。
4. 培養細胞の状態(接着、形態、増殖)の観察に基づいた判断ができる。

《成績評価の方法と基準》

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 知識を確認する試験:20% | 4. 授業中の態度・グループ貢献度評価:10% |
| 2. 実技試験:30% | 5. 出席点:20% |
| 3. レポート評価:20% | |

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じてプリントを配布する。

《授業外における学習方法》

1. 使用教材(教科書)を事前に読んでおくこと
2. 実習ノートを作成し、毎回の実習ごとに記録を残し、事象や結果に関する考察も記載すること

《履修に当たっての留意点》

培養技術は簡単に身につくものではなく、訓練が必要なものである。操作を覚えるだけでなく、操作の意味やその背景にある原理・理論を理解し、自己研鑽に励んで欲しい。培養技術は簡単に身につくものではなく、訓練が必要なものである。操作を覚えるだけでなく、操作の意味やその背景にある原理・理論を理解し、自己研鑽に励んで欲しい。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回 講義実習形式	授業を通じての到達目標	コンタミをさせずかつ、正常な状態で細胞を維持したまま細胞凍結の操作がおこなえる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	播種した細胞をもちいて剥離～凍結の操作をおこなう。		
第32回 実習形式	授業を通じての到達目標	コンタミをさせずかつ、正常な状態で細胞を維持したまま細胞凍結の操作がおこなえる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	播種した細胞をもちいて剥離～凍結の操作をおこなう。		
第33回 実習形式	授業を通じての到達目標	コンタミをさせずかつ、正常な状態で細胞を維持したまま細胞凍結の操作がおこなえる。	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	播種した細胞をもちいて剥離～凍結の操作をおこなう。		
第34回 実習形式	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第35回 実習形式	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第37回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第38回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第39回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第40回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第41回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第42回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第43回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第44回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		
第45回	授業を通じての到達目標	細胞解凍から継代、凍結までの基本的な細胞培養技術を向上させる	実習マニュアル 実習ノート	
	各コマにおける授業予定	細胞を維持培養しつつ、一部を凍結、解凍を繰り返す。		